



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 理史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長兼企画管理部長 (氏名) 渡邊 繁樹

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 2,705 | △19.3 | 184 | △28.4 | 152 | △41.2 | 105 | △38.1 |
| 28年3月期第1四半期 | 3,352 | △1.1 | 257 | 6.4 | 258 | 13.8 | 170 | 16.7 |

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 96百万円 (△44.9%) 28年3月期第1四半期 175百万円 (18.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 8.63 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 13.94 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 10,145 | 5,248 | 51.7 |
| 28年3月期 | 10,257 | 5,213 | 50.8 |

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 5,248百万円 28年3月期 5,213百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,900 | △24.3 | 240 | △46.4 | 220 | △49.6 | 150 | △46.9 | 12.28 |
| 通期 | 10,000 | △15.2 | 540 | 1.4 | 520 | 2.9 | 350 | 11.8 | 28.66 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期1Q | 13,029,500 株 | 28年3月期 | 13,029,500 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期1Q | 816,871 株 | 28年3月期 | 816,772 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期1Q | 12,212,702 株 | 28年3月期1Q | 12,214,288 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」という）におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費は足踏みがみられる一方、雇用情勢・所得環境の改善傾向は続いており、景気全体としては弱さもみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外においては、米国は雇用・内需を中心に依然好調であるものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気下振れ懸念、地政学的リスク、英国におけるEU離脱国民投票結果など、景気の先行きについては、依然として不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は前年同期比647百万円減収（19.3%減収）の2,705百万円、営業利益は同73百万円減益（28.4%減益）の184百万円、経常利益は同106百万円減益（41.2%減益）の152百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同64百万円減益（38.1%減益）の105百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場（ドル建て）は、前年度は5月初旬まで上げ基調で、トン当たり8,900ドルまで上昇しましたが、主産地である中国での景気減速により内需が低迷し在庫が増加したことから、下げ基調に転じ、昨年秋以降5,000ドル台で推移しました。その後、中国サプライヤーの生産調整や備蓄の情報などを受け4月後半から1,000ドル以上急騰し、第1四半期末では6,650ドルまで上昇しました。当第1四半期の平均価格はトン当たり6,252ドルで、前年同期の8,617ドルに比して、27.5%の大幅な下落となっております。

同事業の販売状況につきましては、販売数量は、中国版社の伸びもあり、前年同期比58トン増加（3.3%増加）の1,827トンとなりました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、原料価格下落に伴う販売価格の低下により前年同期比496百万円減収（26.9%減収）の1,346百万円となりました。セグメント利益は、海外競合会社との価格競争激化などの影響により、同62百万円減益の24百万円のセグメント損失となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は当第1四半期平均で、トン当たり555,700円となり、前年同期比28.9%の大幅な下落となりました。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、スマートフォン関連需要に加え、軟磁性材向けの販売も堅調に推移しましたので、販売数量は前年同期比47トン増加（19.1%増加）の296トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉につきましては、主用途である自動車部品向けが、自動車燃費不正問題の影響もあり、やや軟調となっております。販売数量は前年同期比34トン減少（7.7%減少）の414トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比13トン増加（1.8%増加）の709トンとなりました。

その結果、同事業の当第1四半期の売上高は、原料銅価格下落の影響などにより、前年同期比151百万円減収（10.1%減収）の1,352百万円となりました。セグメント利益は、研究開発費他の販売費及び一般管理費の増加があり、同10百万円減益（5.1%減益）の201百万円となりました。

[その他]

当第1四半期不動産賃貸事業の売上高は5百万円（前年同期比2.9%増収）、セグメント利益は5百万円（前年同期比0.4%減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,864百万円となり、前連結会計年度末と比べ33百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が178百万円、原材料及び貯蔵品が5百万円、その他が57百万円増加したものの、現金及び預金が163百万円、商品及び製品が118百万円減少したことによるものであります。固定資産は4,280百万円となり前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が24百万円、機械装置及び運搬具が53百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、10,145百万円となり、前連結会計年度末と比べ112百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,478百万円となり、前連結会計年度末と比べ174百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が190百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,418百万円となり前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、4,896百万円となり、前連結会計年度末と比べ148百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,248百万円となり、前連結会計年度末と比べ35百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により105百万円増加したこと及び配当により61百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.7%（前連結会計年度末は50.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,563,260 | 2,399,433 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,465,015 | 1,643,822 |
| 商品及び製品 | 1,037,012 | 918,339 |
| 仕掛品 | 194,650 | 202,209 |
| 原材料及び貯蔵品 | 512,114 | 517,753 |
| その他 | 130,246 | 187,603 |
| 貸倒引当金 | △4,442 | △4,820 |
| 流動資産合計 | 5,897,856 | 5,864,341 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,534,334 | 1,509,532 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 751,712 | 698,014 |
| 土地 | 1,478,590 | 1,478,590 |
| その他（純額） | 121,515 | 138,160 |
| 有形固定資産合計 | 3,886,153 | 3,824,297 |
| 無形固定資産 | 52,279 | 49,482 |
| 投資その他の資産 | 421,312 | 407,001 |
| 固定資産合計 | 4,359,745 | 4,280,782 |
| 繰延資産 | 77 | — |
| 資産合計 | 10,257,680 | 10,145,124 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 618,375 | 641,618 |
| 電子記録債務 | 290,612 | 359,509 |
| 短期借入金 | 2,082,000 | 1,892,000 |
| 未払法人税等 | 83,257 | 59,747 |
| 賞与引当金 | 103,783 | 49,777 |
| その他 | 474,486 | 475,461 |
| 流動負債合計 | 3,652,515 | 3,478,113 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 960,000 | 1,005,750 |
| 退職給付に係る負債 | 312,755 | 293,321 |
| 資産除去債務 | 35,571 | 35,623 |
| その他 | 83,393 | 83,327 |
| 固定負債合計 | 1,391,720 | 1,418,022 |
| 負債合計 | 5,044,235 | 4,896,136 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,018,126 | 1,018,126 |
| 資本剰余金 | 564,725 | 564,725 |
| 利益剰余金 | 3,772,716 | 3,817,041 |
| 自己株式 | △148,476 | △148,509 |
| 株主資本合計 | 5,207,092 | 5,251,384 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,702 | △9,838 |
| 為替換算調整勘定 | 11,054 | 7,442 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,352 | △2,396 |
| 純資産合計 | 5,213,444 | 5,248,987 |
| 負債純資産合計 | 10,257,680 | 10,145,124 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,352,671 | 2,705,235 |
| 売上原価 | 2,867,345 | 2,278,022 |
| 売上総利益 | 485,326 | 427,212 |
| 販売費及び一般管理費 | 227,449 | 242,576 |
| 営業利益 | 257,876 | 184,636 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 1,587 | 1,654 |
| 為替差益 | 8,344 | — |
| その他 | 2,157 | 1,330 |
| 営業外収益合計 | 12,088 | 2,984 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,778 | 5,242 |
| 為替差損 | — | 25,434 |
| その他 | 3,411 | 4,903 |
| 営業外費用合計 | 11,189 | 35,580 |
| 経常利益 | 258,775 | 152,041 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 946 | 89 |
| 特別損失合計 | 946 | 89 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 257,828 | 151,951 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 86,506 | 48,908 |
| 法人税等調整額 | 1,029 | △2,345 |
| 法人税等合計 | 87,535 | 46,562 |
| 四半期純利益 | 170,292 | 105,389 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 170,292 | 105,389 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 170,292 | 105,389 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,987 | △5,136 |
| 為替換算調整勘定 | 33 | △3,612 |
| その他の包括利益合計 | 5,021 | △8,748 |
| 四半期包括利益 | 175,314 | 96,640 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 175,314 | 96,640 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|-------------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | アンチモン 事業 | 金属粉末 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 1,843,161 | 1,503,972 | 3,347,133 | 5,537 | 3,352,671 | — | 3,352,671 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | — | 10,755 | 10,755 | — | 10,755 | △10,755 | — |
| 計 | 1,843,161 | 1,514,727 | 3,357,889 | 5,537 | 3,363,427 | △10,755 | 3,352,671 |
| セグメント利益 | 37,522 | 212,512 | 250,035 | 5,315 | 255,350 | 2,526 | 257,876 |

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額2,526千円はセグメント間取引の消去2,526千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|-------------|------------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | アンチモン 事業 | 金属粉末 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 1,346,838 | 1,352,695 | 2,699,534 | 5,701 | 2,705,235 | — | 2,705,235 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 99 | 10,920 | 11,020 | — | 11,020 | △11,020 | — |
| 計 | 1,346,938 | 1,363,616 | 2,710,555 | 5,701 | 2,716,256 | △11,020 | 2,705,235 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △24,881 | 201,727 | 176,846 | 5,292 | 182,139 | 2,497 | 184,636 |

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額2,497千円はセグメント間取引の消去2,497千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。